

英語科学習指導案

日時 令和4年 6月16日(木) 第5時限

学級 第3学年 1組(32名)

場所 3年1組教室

授業者

印

指導教諭

印

1. 単元名

教科書 New Horizon English Course3 (東京書籍)

Unit2 Haiku in English

2. 単元の目標

- ・海外でも愛される日本の伝統文化の魅力を知り、言語や文化の違いについて考える。
- ・現在完了形・現在完了進行形を用いて、ずっと好きなことや、これまで取り組んできたことについて伝え合うことができる

3. 単元について

(1) 生徒観

Unit1 において、現在完了形の経験用法や SVOO の文型を学んでいるが、中には現在完了形と現在完了進行形との違いを混同する生徒もいると考えられる。したがって、現在完了進行形の用法と、疑問文の語順を繰り返し確認していきたい。また、受動態や比較級など、様々な既習事項が本文に組み込まれているため、適宜文法を復習していきたい。

(2) 教材観

本単元では、メグが ALT のペーカー先生との会話がきっかけで日本の俳句について調べ、海外でも英語の俳句は人気が高いことについて述べられている。メグとペーカー先生との会話では、現在完了形を用いて好きな俳人について伝える場面や、俳句の歴史について現在完了進行形を用いて説明する場面がある。現在完了形や現在完了進行形を用いて、互いに英語で尋ね合う活動を通し、文法事項の定着を図りたい。

(3) 指導観

現在完了形や現在完了進行形という複雑な文法事項を理解するため、身近な例をあげてその用法や使い方の違いを分かりやすく伝える。また、相手の思いや考え

を知ること、より豊かな言語活動につなげるようにする。

4.指導計画（全10時間）

時間	内容
1	Preview、Scene①、「現在完了形（完了用法）の文法理解
2	Scene① 本文内容理解
3	Scene②「現在完了形（継続用法）」の文法理解
4	Scene② 本文内容理解
5	Read and Think①「現在完了進行形」の文法理解
6	Read and Think① 本文内容理解
7	Let's Try ～過去から現在へのつながりを意識しよう～、現在完了形・現在完了進行形を用いた表現の確認、Speaking Activity(現在完了進行形)
8	Read and Think②「現在完了進行形」の文法理解
9	Read and Think② 本文内容理解（本時）
10	Let's Talk はじめての出会い、Learning SCIENCE in English

5.本時の目標

- ①日本の伝統的な文化の一つである俳句について、海外ではどのように読み書きされているのかを理解することができる。
- ②現在完了形・現在完了進行形と so that 構文の文法事項の用法を理解し、本文内容を読み解くことができる。

6.本時の評価規準

- ①現在完了形・現在完了進行形・so that 構文の形・意味・用法を確認することができる。(知識・技能)
- ②内容を理解し、問いに答えることができる。(思考・判断・表現)
- ③間違ふことを恐れずに意欲的に授業に参加することができる。(主体的に学習に取り組む態度)

7. 本時の展開

時間	「学習内容」	指導上の留意点	評価方法
導入 5分	<p><u>○単語学習 (Quizlet)</u></p> <p>・タブレット端末を用いてグループごとに単語学習で競う。</p>	<p>・チャイムと同時に《ゲームの作成》⇒《ゲームの開始》を押し、単語ゲームが終わればタブレットを閉じるよう指示する。</p>	<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>積極的にグループで協力して取り組んでいる。</p>
展開 ① 7分	<p><u>○So ~ that 構文</u></p> <p>・so ~ that 構文を確認する。</p> <p>前のデジタル黒板に文法説明をし、問題を解く。</p>	<p>・本時の目標を確認する。</p>	
② 13分	<p><u>○Read and Think (本文)</u></p> <p>・本文内容の解説を聞き、自分自身が記入した内容と確認する。</p> <p>・副詞や形容詞、頻度を表す副詞等一つ一つ確認し、不定詞の用法の意味等も復習する。</p>	<p>・現在完了形、現在完了進行形以外にも、[比較級、not only A but also 構文、so ~ that 構文] 等、重要な文法事項が本文中に含まれているため、文法の定着のため随時確認する。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>文法事項を理解している。</p>
③ 13分	<p><u>○Read and Think (TF, QA)</u></p> <p>・各自で解答の確認をする。</p> <p>・Falseの文章に、どの部分が本文の内容とは異なっているのかを確認する。</p>	<p>・なぜ正しいのか、誤っているのかを本文の内容と照らし合わせながら説明する。(疑問文に答える際に、主語・動詞は何を使うのかを注意深く確認するよう促す。)</p>	<p>【思考・判断・表現】</p> <p>各自の解答を確認している。</p>

④ 10分	<u>Round 2, Round 3</u> ・ Round 2 の質問に対する解答と、Round 3 の本文内容理解の空欄に入るものをチェックする	・ Round 3 は英語の俳句の作り方をまとめたものであるため、何が重要なかを改めて復習できるように確認する。	【主体的に学習に取り組む態度】 自分の考えを意欲的に発表している。
終末 2分	○単元の振り返り ・教科書 p. 28 の CAN-DO リストを確認し、単元を通して何ができるようになったか、学習内容を振り返る。	・ 自己評価できているかどうかを確認する。	